

吉田 聡



准教授

YOSHIDA, Satoru

所属…人間形成教育センター

URL <http://misc.kankyo-u.ac.jp/~satoru-y/>

Profile

■主な担当科目 微分積分学, 線形代数学, 数理基礎

■研究者略歴

- 2003 (平成15) 年 3月 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程 修了
- 2005 (平成17) 年 8月 産業技術総合研究所・産総研特別研究員
- 2009 (平成21) 年 8月 鳥取環境大学情報システム学科講師
- 2013 (平成25) 年10月 鳥取環境大学人間形成教育センター准教授

Research

■取得学位 博士 (情報科学) (北陸先端科学技術大学院大学)

■専門分野 数理論理学

■現在の研究テーマ

- ・解析学理論の計算可能性の研究
- ・数理的技法によるコンピュータシステムの検証に関する研究

■所属学会 日本数学会, 日本科学哲学会

■資格 中学校教諭一種免許 (数学)、高等学校教諭一種免許 (数学)

Data

■研究等活動

【論文】

・吉田聡・竹内泉・小池憲史・大崎人士, 図示記法表現とLTL論理式, 2008年3月, 第10回プログラミングおよびプログラミング言語ワークショップ (PPL, 仙台)論文集, 204-215.

【報告書】

・吉田聡, ソフトウェア更新システムプロトコルの様相論理S4に基づく検証, 2016年3月, 公立鳥取環境大学紀要, vol. 14, pp.95-103.

【口頭発表】

- ・吉田聡, 様相論理S4に基づくプロトコル検証, 第27回代数, 論理, 幾何と情報科学研究集会 (ALGI), 信州大学, 2016年8月.
- ・岡本圭史・松野裕・吉田聡, D-Case による SysML の説明力向上を目指して, 2015年10月, 信学技報, vol. 115, no. 281, KBSE2015-38, pp. 13-16.
- ・吉田聡, 構成的解析学における超関数からなる空間の位相について, 2013年9月, SLAGICS 2013, 京都大学数理解析研究所.
- ・吉田聡, 構成的数学の体系とその実践, 2013年3月, 数学の形式化に関する研究集会 (主催:九州大学数理学府グローバルCOEプログラム「マス・フォア・インダストリ教育研究拠点」), アクロス福岡.
- ・岡本賢吾・吉田聡・西澤弘毅・細川雄一郎, 連続性と様相-その一般化-非古典化の数理と形而上学, 2010年11月, 科学基礎論学会研究例会, 日本大学文理学部.

■社会貢献活動

- ・「探求ゼミ」発表会参加, 2016年10月, 翌年2月, 平成28年度鳥取県立高等学校・大学教員交流事業, 鳥取県立八頭高等学校.
- ・鳥取県中高生プログラミングコンテスト (主催: 鳥取県情報産業協会, 2013~2016年度) 審査員.
- ・第26回代数, 論理, 幾何と情報科学研究集会 (2015年8月) 会場世話人.
- ・数学基礎論若手の会 2014 (後援:日本数学会数学基礎論および歴史分科会, 2014年11月) 幹事.
- ・鳥取環境大学公開講座: 大学で学ぶ数学 -その現状とこれからのを考える-, 2014年3月, 鳥取県立図書館・米子市立図書館.
- ・出前授業: 大学で学ぶ数学・社会基盤としての数学・生きるための数学, 2012年9月, 平成24年度鳥取県立高校・大学教員交流事業, 鳥取県立鳥取中央育英高等学校.